



1 地区の概況

- ◆相鉄線三ツ境駅が徒歩圏内にあり、幹線道路である横浜厚木線や、丸子中山茅ヶ崎線、瀬谷柏尾線が交差するなど利便性が高い地域です。
- ◆地域内に区役所、福祉保健活動拠点、地域ケアプラザなどの公共施設や特別支援学校、小中学校もあり、福祉保健活動団体の活動が活発に行われています。

2 第1期・第2期で取り組んだ主な活動や事業

1. 連携（つながり）の強化

- ◆自治会・民児協・地区社協の連携、町内会単位の見守り・防災活動
- ◆気づきのキャッチ・見守りのリレー事業、見守りサポーター活動
- ◆「元気塾」介護予防運動
- ◆子育て・障害者支援
- ◆あいさつ運動・声かけ運動（見守りサポーター）

2. 高齢者の生きがいづくり

- ◆地域活動拠点増設
- ◆会食会設立・配食サービス
- ◆地域活動の協力体制（男のボランティアとなり組）（女性のボランティア）

3. 情報・交流の機会

- ◆福祉保健新聞
- ◆福祉保健まつり
- ◆第四地区のきずな

4. 地域活動の活性化

- ◆自治会単位での活発な防災訓練
- ◆自治会単位で活動するボランティア活動員の発掘と育成

5. 人材発掘・人材育成

- ◆担い手の増員
- ◆地域参加率向上



3 第3期計画に向けての課題

全世帯アンケート及び平成27年6月から9月にかけて3回開催した瀬谷第四地区福祉保健計画拡大実行委員会(拡大実行委員会)において、第3期計画に向けた話し合いを進めました。

- ◆子どもの遊び場が少ない、交流の機会がもっとあると良い
- ◆障害を理解するための研修会が必要ではないか
- ◆引き続き、日常の見守りと災害時の支援体制づくりを進めていく
- ◆地域活動参加者が固定化されており、若い世代の参加を促進したい



4 推進母体

瀬谷第四地区福祉保健計画実行委員会
瀬谷第四地区社会福祉協議会、連合自治会、民生委員児童委員協議会等

5 第3期計画

元気で明るい楽しいまち



【連携（つながり）の強化】

テーマ	目標値 (あるべき姿)	活動目標値 (5年間の活動目標)
1. 子ども・親との連携支援	子どもは国の宝、地域みんなで支えあって健全な育成が進められている。	(1) 気軽に見守りする雰囲気が出てきている。 (2) 高齢者との交流の機会が設けられている。 (3) 子どもを支援する場ができていく。
2. 障害者・家族との連携支援	障害者及び家族が普通に安心して暮らせるまちづくりが進んでいる。	(1) 障害理解が進められている。 (2) 障害者が参加しやすい地域イベントが活発に行われている。 (3) 障害者・家族を支える体制が進められている。
3. 高齢者への支援	高齢者が健康で元気に地域活動に参加し楽しい人生を送っている。	(1) 認知症の方への支援が充実している。 (2) 日常生活における不安の解消が進んでいる。 (3) 隣近所の見守り活動がすみずみまで行き届いている。 (4) 健康長寿のための多様な活動が活発に行われている。

【地域活動の活性化】

テーマ	目標値 (あるべき姿)	活動目標値 (5年間の活動目標)
4. 第四地区のきずな	防災組織と日常の見守り体制が構築され、災害発生時の支援体制が確立されている。	(1) 会員カードの活用方法が周知されている。 (2) 単位自治会で災害発生時の要援護者への支援が整っている。 (3) 単位自治会で日常の見守りが行われている。
5. 見守りサポーター活動推進強化	地域全体で支え合い、助け合いの出来る見守り体制が確立されている。	(1) 見守りサポーター活動が拡充している。 (2) 地域の気づきから、見守りや支援の仕組みづくりが進められている。
6. 人材発掘 人材育成	地域活動が様々な世代と協働で継続されていく。	(1) 地域活動参加の仕組みができていく。 (2) 若い世代との交流が進んでいる。